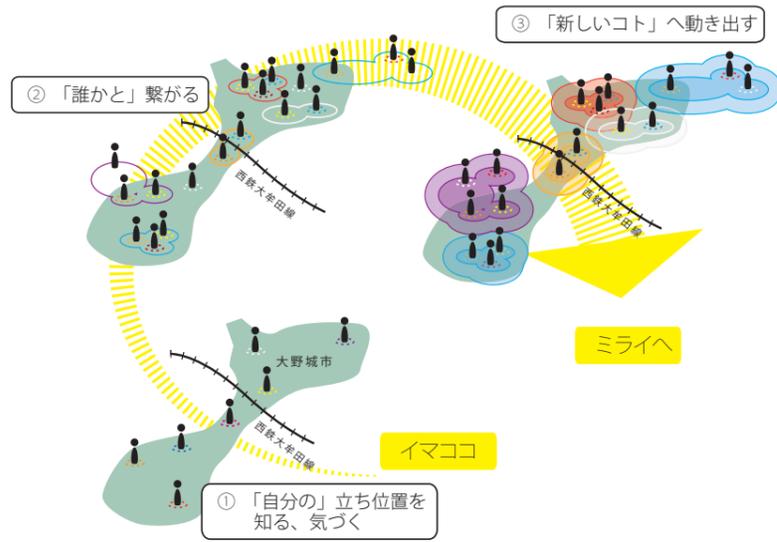


(2) 大野城市高架下活用勉強会の開催状況

高架下周辺整備を契機とし、市の魅力やにぎわいの創出に向けて、まちづくりに関する意見交換や仲間づくりを目的とした「大野城高架下活用勉強会」を実施しています。これからの大野城市全体のミライづくりに向けて、市民が主体となって働きかけ繋がりがあいながら、互いに学んでいます。これまで、計7回開催しており、前回のまちづくニュース以降に開催された第6回・第7回の勉強会の概要をお知らせします。



●第6回 令和元年10月23日(水) 『人に“刺さる”表現のコツ ～良い広告デザインとは?を学ぶ～』

企業から行政・地域団体まで、それぞれの立場における「デザインの最適化」を実践されているうんのやすおみ 転野康臣氏（NPO 法人九州コミュニティ研究所理事長）を講師にお迎えし、効果的な情報デザインのコツや「人に刺さる」広告戦略の基礎を学びました。



●第7回 令和元年11月25日(月) 『リノベーション×交流 ～DIYリノベによる場づくりとコトづくり～』

これまでの参加者から勉強会の企画募集により採用された「DIYリノベ」をテーマとした勉強会が開催されました。久留米市の「リノベ兄弟」として知られるはんだみつる 半田満さんと一緒に、大野城市の地域交流の拠点づくりを考えました。



大野城市 高架下周辺まちづくりニュース No.3 (令和2年1月発行)

福岡県大野城市 建設環境部 連立・高架下活用推進室

〒816-8510 福岡県大野城市曙町二丁目2番1号

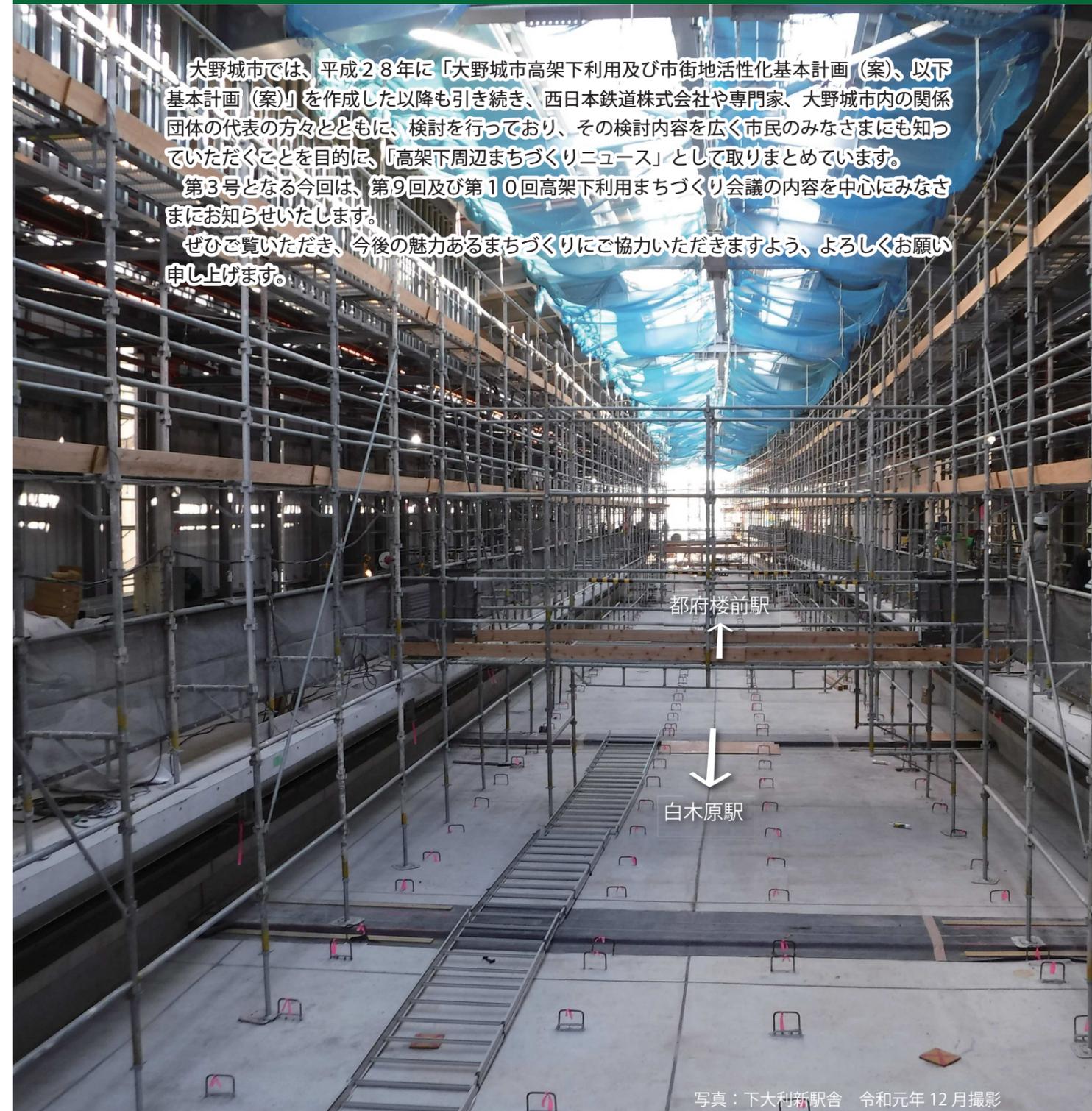
TEL:092-580-1967、Fax:092-572-8432

※連立事業の工期については延期されるという発表があり、現在福岡県で延期となる期間が短縮できないか等についての検討が行われています。工期が明確になりましたら速やかに市民の皆様にお知らせいたします。

大野城市

高架下周辺まちづくりニュース

No.3



大野城市では、平成28年に「大野城市高架下利用及び市街地活性化基本計画（案）、以下基本計画（案）」を作成した以降も引き続き、西日本鉄道株式会社や専門家、大野城市内の関係団体の代表の方々とともに、検討を行っており、その検討内容を広く市民のみなさまにも知っていただくことを目的に、「高架下周辺まちづくりニュース」として取りまとめています。

第3号となる今回は、第9回及び第10回高架下利用まちづくり会議の内容を中心にみなさまにお知らせいたします。

ぜひご覧いただき、今後の魅力あるまちづくりにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

写真：下大利新駅舎 令和元年12月撮影

令和2年1月発行

大野城市 連立・高架下活用推進室

(1) 高架下利用まちづくり会議の進捗状況

第9回

令和元年 10月25日(金)

整備コンセプトと建築施設の整備イメージ、整備後の利活用の方針について意見交換を行いました。

第9回会議では、前回までに検討した『事業コンセプト』に基づく、各箇所の整備の方向性を示す『整備コンセプト』について、筑紫中央高校前の複合型交流施設及び駐輪場の整備イメージについて意見交換を行いました。また、整備予定地をどのように利活用していくかを整理する、『活用基本方針』の取りまとめに向けて意見交換を行いました。



●整備コンセプトについて

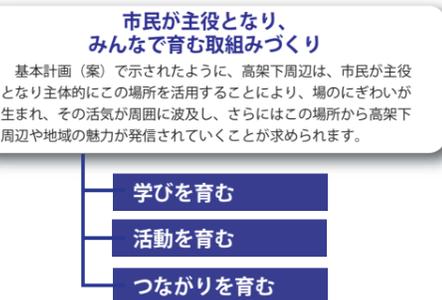
整備コンセプトについて、下図の通り方針を共有しました。この整備コンセプトに基づき、具体的な整備イメージに展開していくものとします。



●活用基本方針取りまとめに向けて

活用基本方針の取りまとめに向け、高架下周辺ににぎわいが育まれていくための方針や取組みのイメージを整理し、利活用の方向性について共有しました。

【利活用の方向性】



第10回

令和元年 11月29日(金)

最終的な取りまとめに向けて、これまでの検討事項の振り返りと、整備後の活用基本方針について意見交換を行いました。

これまでの会議での検討事項の振り返りと、前回に引続き活用基本方針について意見交換を行いました。

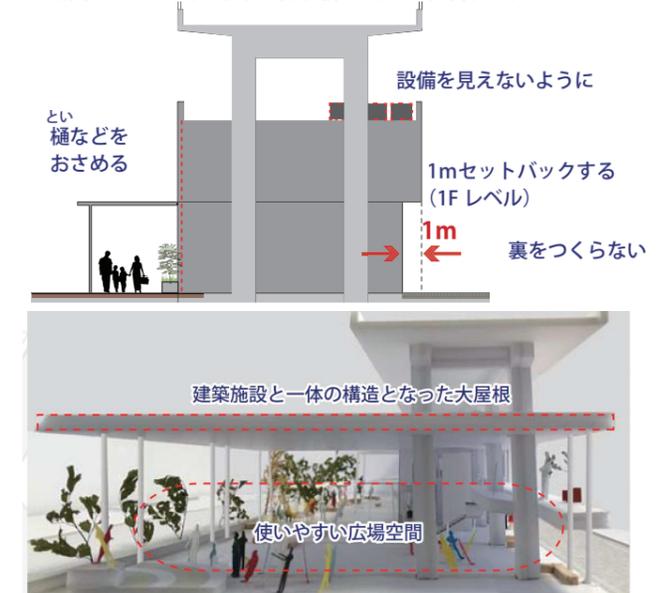
なお、これまで計10回の会議で議論してきた事業・整備・活用についての内容は、今年度を目途に最終的な成果として取りまとめしていく予定です。とりまとめ結果については、順次市民の皆さんにお知らせしていきたいと考えています。



●整備イメージについて

最終的な取りまとめに向け、市の整備内容について確認しました。また、広場及び複合施設(筑紫中央高校前)については、建築施設の配置やデザインの考え方について意見交換を行いました。歩行者にやさしい高架下周辺の空間づくりに向けて、道路や自転車の考え方も合わせて整理していく必要があります。なお、民間建築施設に関する配置の考え方や細かなルール等については、引き続き西鉄と協議を行いながら検討を進めていきます。

■断面イメージ(筑紫中央高校前広場及び複合施設)



●活用基本方針について

高架下周辺の利活用の実現に向け、短期・中期・長期におけるステップを示し、活用方針について意見交換を行いました。また、運営体制や資金運営、プロモーションの必要性についてなど、今後の課題について共有しました。

